

平成24年度第1回 国立大学法人北海道大学経営協議会議事要旨

日 時 平成24年6月12日（火） 13:15～15:25
場 所 事務局 第一会議室A
出席者 21名
（学内） 佐伯総長，本堂，三上，上田，山口，新田，鑄山，高杉，吉見，嗟峨，福田，
宇山 各委員
（学外） 近藤，數土，野田，林，平山，松谷，山本，横山，和田 各委員
欠席者 3名
（学外） 奥田，毛塚，高井 各委員

議 事

総長から，委員の交代及び再任があったことから，委員の紹介があった。

また，議事に先立ち，平成24年3月15日の平成23年度第4回経営協議会の議事要旨について確認を行った。

【 議 題 】

1 総長選考会議委員の選出について

総長から，総長選考会議の構成等について説明があった後，本協議会選出の委員4名が本年3月末日で任期満了となったことから，後任委員を選出する必要がある旨説明があり，その選出方法は前回同様，全出席委員による投票により行うことが了承された後，投票立会人を福田委員及び宇山委員にお願いすること，得票同数の場合の決定方法及び補欠委員の選出等について説明があった後，投票が行われた。

投票の結果，総長選考会議委員として，數土，林，平山，横山の4委員が，補欠委員として松谷（次点），山本（次々点）委員がそれぞれ選出された。

2 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

三上理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

3 平成25年度概算要求事項について

高杉理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

なお，委員から，今後の概算要求に当たっては，北大において伝統があり，他大学にない特色である「農業」に関する取り組みについて，道内の研究機関と交流を盛んにし，お互いに役割分担しながら，積極的かつ継続的に国へ提案して欲しいとの発言があった。これに対して上田理事から，現在，「農業」に関する研究戦略を立て，概算要求に限らず国に提案していくことを模索しており，いただいた意見も参考としつつ取り組んでいきたい旨の発言があった。

また，総長から，文部科学省に要求を行う際には順位を付す必要があるが，これについては一任いただきたい旨発言があり，了承された。

4 平成23年度決算について

米澤監事から、監査結果について報告があった。

引き続き、高杉理事から、資料に基づき説明があった後、審議の結果了承された。

なお、委員から、大学病院だけでなく他の教育研究組織等についても個別に収支を示すことが望ましい旨の発言があり、高杉理事から、正確な収支を示すことは難しいが、全体の傾向については整理できると思われるので努力したい旨発言があった。

【 報告事項等 】

1 役員及び職員の給与について

高杉理事から、資料に基づき報告があった。

2 「北大フロンティア基金」の寄附受入状況等について

鑄山理事から、前回本協議会に報告した以降の状況及び平成23年度決算の概要について、資料に基づき報告があった。

3 産学連携本部の活動状況等について

上田理事から、資料に基づき報告があった。

なお、委員から、特許の出願件数を絞って経費節減に努める取組は理解できるが、優れた特許を活用して収入を上げることが産学連携本部の仕事のひとつであることから、誰が審査しても審査結果が変わらないような審査基準を設ける等、絞り込みの方法には十分注意いただきたい旨発言があり、上田理事から、現在も評価項目を定め、学外の方を含めた知財審査会にて審査基準に基づき審査を行っているが、今後は他大学の取り組み例も参考にしていきたい旨発言があった。

また、委員から、先日文部科学省から採択内定の通知を受けた「地域イノベーション戦略支援プログラム」については、北大リサーチ&ビジネスパークを拠点、ノーステック財団を総合調整機関として推進する事業であるが、研究の主体は北大となり、予算の多くは北大に配分されると聞いている。かつてC評価を受けた科学技術振興調整費「北大R&BP構想」の反省を踏まえて、しっかり対応していただきたいとともに、各プロジェクトの進捗状況や経費の執行状況について定期的に確認し、年2回程度は、同財団との会議などで報告いただきたい旨発言があった。これに対して上田理事から、本プログラムは、事業化という目的を達成するためには総合調整機関である同財団と協力しなければ進められない事業であり、本学としても以前の反省を踏まえ、連絡を密にして取り組んでいきたいと考えている旨発言があった。

(以上)